

外国人の居住専用アパートについて

【内容】

田辺市にも外国人の方が増えてきました。京都などと違い、観光客というよりも長期滞在される方が多いようです。生活の利便性を考えた「外国人の方が借りやすいアパート」が必要ではないでしょうか。日本に来て生活が安定することで、地域間交流や文化交流にも効果があると思います。

【回答】

国際化は地域社会でも急速に進展しており、田辺市においても外国人登録人員は、平成18年7月末現在、18ヶ国、166世帯、310人となっています。

田辺市では、市民と外国人の皆さんの交流の場を作ることにより、お互いの文化・習慣への理解を深め、市民レベルでの国際交流を図ることを目的とした田辺市国際交流センターを設置しています。

当センターでは、外国人の皆さんへ生活情報の提供や相談活動を行っているところですが、外国人によるアパート等の住居についての相談件数は、ここ数年ほとんどなく、本人及び雇用主により住居対応は十分なされているものと認識しています。したがって、外国人専用のアパート等を市として建設する緊急性は、現在感じていませんが、今後も相談業務の状況を踏まえながら、住居事情の把握に努めていきたいと考えています。

また、国際交流センター内にはサロンを開設し、市民と外国人または外国人同士が気軽に生活情報の交換ができる場として利用いただいているとともに、日本語指導ボランティアによる日本語習得の機会の提供にも努めています。

さらに、田辺市国際交流協会を中心に、外国人と市民と一緒に体験活動する交流事業を実施するなど、ボランティアの国際交流活動も展開されています。

今後は、さらに在住外国人の増加、定住化が進むなか、市民と在住外国人がお互いの生活や習慣の違いを理解し、生活の場においても交流ができ、共に安心して暮らせる地域社会を築いていくために、相互理解の促進、情報提供の充実、共生環境の整備等に取り組んでまいりたいと考えていますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

(担当：生涯学習課)